

共生



小学校中学年以上

道徳

学級活動

総合

道徳ドキュメント きみならどうする? 15分

なにを優先するの? 優先席 (2010年放送)

この番組の良さ



優先席はなぜ必要か?

電車の中でのマナーのひとつが「優先席では席を譲る」ということがあります。しかし、現実ではなかなか守られないマナーです。その理由は为什么呢? この番組では、優先席ができた時代の流れから、優先席に対しての人々の考え方を洗い出します。そして、全席優先席を採用している、横浜市営地下鉄の取り組みにせまります。

全席優先席

全国で初めて、全席を優先席とした横浜市営地下鉄。導入当初は、大きなキャンペーンなどで市民への周知がなされたが、4年後のアンケートでは、優先席に反対する意見が半数を超えるまでになった。このため、その現実を変えようと、ボランティアが努力しています。

番組活用のポイント

優先席を考えることで公衆道徳(マナー)を学ぶ

優先席は、日本全国の公共交通車両に採用されています。しかし、その活用をめぐるにはいろいろな意見があります。

では、なぜ優先席が必要なのか?

「席を譲り合う」ということが、人と人との心のつながりであること。そして、それを行動化することで公衆道徳(マナー)だけでなく、道徳的向上心や道徳的活用力を育てます。特に、日常的に公共交通機関を利用する子どもたちや普段、これらを利用する機会の少ない子どもたちにとっても有効な番組です。

時代背景から考える

番組では、日本で初めて、国鉄(現JR東日本)が、東京の山手線で優先席を設置した背景からせまります。1970年、当時の山手線のラッシュアワーでの乗車率は200パーセントを超えるほどの大混雑でした。その中を、高齢者や身体の不自由な方、小さな子どもを連れた方などは、とても安心して乗車できる状態ではありませんでした。

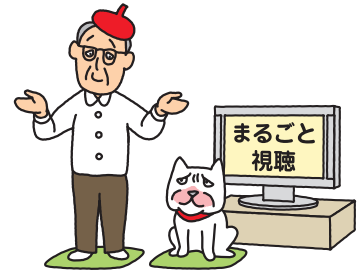
全席優先席にした横浜市営地下鉄

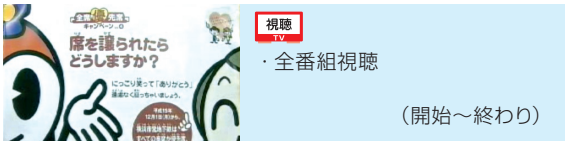
横浜市では、そういった優先席をどうするか検討した結果、座席すべてを優先席にしました。そうすることで、席を譲る人と譲られる人の利便性が向上すると考えたからです。まずは、そのことを周知してもらうために市長自らもキャンペーン活動に取り組みました。そして、全席優先席は徐々に市民の間に広がってきましたが、4年後のアンケートでは乗客の大半から反対意見が出されました。思ってもみなかった結果になりました。それはどうしてでしょう? 利用者はなにを考えていたのでしょうか? このところを切り口に授業で道徳性(マナー)について考えさせることができます。

学習展開例

授業時間 45分

優先席は本当に必要か 優先席のあり方を考える



時間配分	学習活動	教師の支援
10分	① 優先席ってなにか、知っていることを発表する。	○ 優先席について知っていることを発表させる。
15分	② 番組を視聴し、気がついたことをメモする。 	○ 優先席は、交通弱者を守るために設置された経緯を理解させる。しかし、必ずしも優先席は利用者にとって受け入れられているものではないことも理解させる。
5分	③ 番組の内容を整理し、共通理解する。	○ 優先席は、交通弱者にとって必要であることから設置されたことをまとめさせる。 ○ 優先席は、必ずしも利用者に受け入れられていないことを共通理解し、つぎの考えるステップにさせる。
5分	④ 優先席のあり方について、自分だったらどうするか意見をまとめる。	○ 優先席の必要性について意見を発表させ、交通弱者を守るということの重要性についてまとめさせる。
10分	⑤ まとめた意見から、学級スローガンを考える。	○ 学級全体の共通理解をするために、学級スローガンを話し合わせる。